

小4～

ごみについて調べてみよう

何人でも

3時間

海辺

川や海を汚すのはだれ（漂着物調査）

■概要

地域美化活動を通じて、身近な環境のごみ問題について調べる。

■ねらい

自分の住んでいる地域にどんなごみがあるかを調べ、その原因と対策について考える。

■準備物

- バット（必要数）
- メジャー
- 軍手
- 移植ごて
- ふるい
- ビニール袋
- ビニールシート
- 調査用紙

■進め方

活動	時間	内 容	注意事項
準備		事前調査を行い、干潮時の海岸や干潟で、漂着物が多く見受けられるところを調査地点に定める。	岩場より砂地がよい。
調査	150 分	- 調査地点の中で特に漂着物が多い場所に、1メートル四方の調査エリアを設ける。 - 調査エリア内にある漂着物を全てビニール袋に移す。このとき移植ごて、ふるいなどを使い、砂、石をのぞく形のあるものは全て移す。 - 回収したものをビニールシートに広げ、自然物と人工物に分ける。 - 自然物、人工物ともにどのような物がどれぐらいあったかを分類する。 - 調べた結果をグラフ化し、どんなところにどんなものが打ち上げられているかを調べる。	- 分類は、調査用紙を基に行う。 - 分類後は、正しくごみを処理する。
まとめ	30 分	浮遊ごみによる野生生物に対する影響の話をして、人の活動によって捨てられたと考えられる物がどこから来て、どうなるのかを考えるとともに、減らす方法について考える。	

（授業の場合 調査 45 分×3、まとめ 45 分×1）

注意事項： 水の中のごみや大きなごみは拾わない。釣り針とか割れたビンなどに注意する。調査を行う前に、土地の管理者に必ず相談する（相談しておかないと、ごみの処分などでのトラブルの元になる）。また、海や川へ行くので大人がいるほうが良い。

■解説

- 河口付近や島、入り江の奥などいろいろな場所で調べたり、季節ごとに調べる。
- 漂着ごみ調査は、一般社団法人 JEAN が中心となり、全国的に実施しており、調査結果等を公表しているので、参考にするとよい。（<http://www.jean.jp/>）
- 調査後の漂着物は、広島市の分別方法に従って分別する。